

流浪者

吹きつける雨
そして風
岸壁に立って
君は何を遥かに見るのか

とるにたらぬ生と
果てしもない夢

流れてゆくのは時間ばかり
それとも僕自身が

涙とも
雨とも
君の頬を流れる滴は
何を浄めてくれるのか

日常というものがもたらす
横暴に充ちた圧力が
人間を歪めうること
その自由を奪いうること

それらの恐怖が
君に立ち止まることを許さないなら
僕はどこまでもゆくだろう

(1999.6.9)